

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県鏡野町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救へ輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
13,439	5,062	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

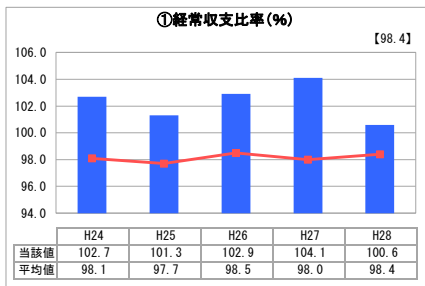
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
48	40	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	88
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
46	38	84

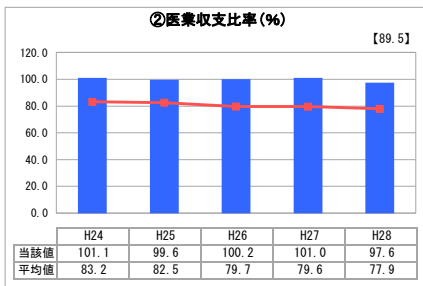
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

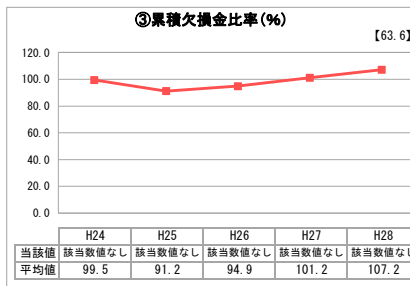
1. 経営の健全性・効率性



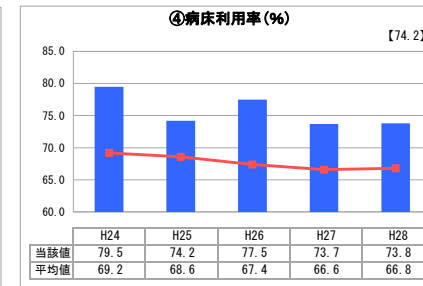
「経常損益」



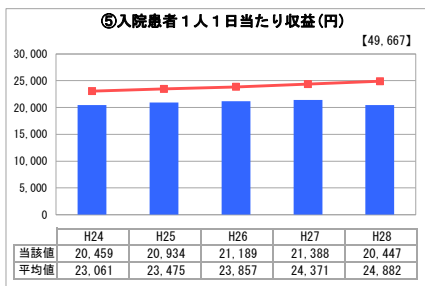
「医業損益」



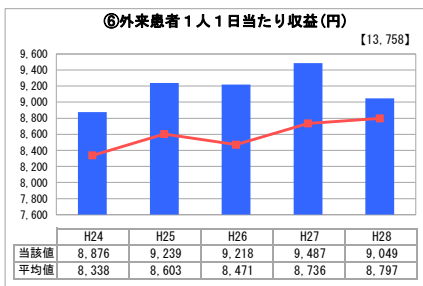
「累積欠損」



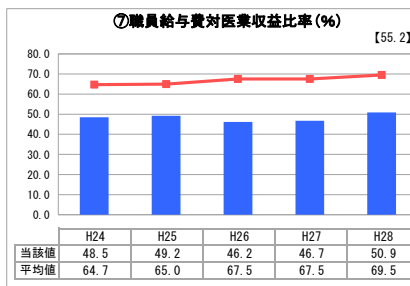
「施設の効率性」



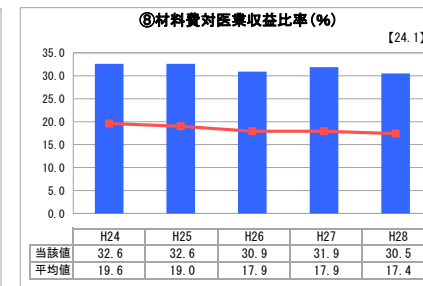
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

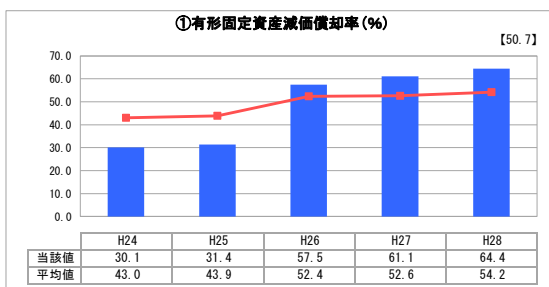


「費用の効率性①」

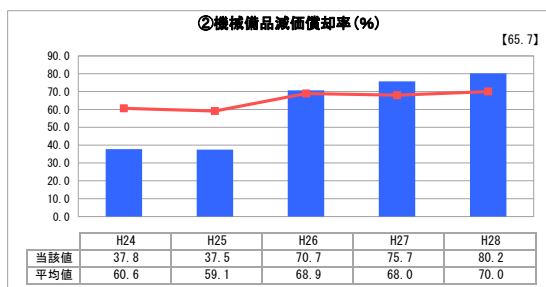


「費用の効率性②」

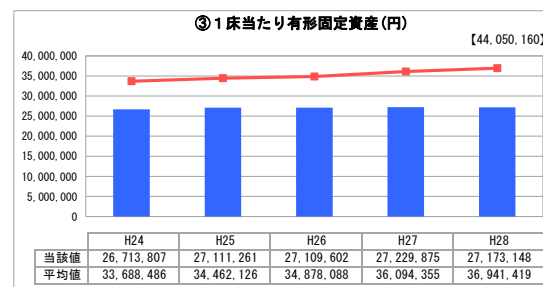
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院の医師定数を下回る状況においても、へき地拠点病院として、3か所の診療所に週5日医師を派遣し、へき地での医療の安定供給を図っている。また、2次救急病院として、夜間、休日問わず救急患者の受け入れをしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率共に100%以上となっており、経営状態は安定している。ただし、入院患者1人1日当たりの収益が低くなっているため、今後の入院基本料等の再確認をして、加算等の増加や、検査、処置の取りこぼしなど収益の増を図る。今後の人口減少による収益の減少を抑えるため地域包括ケア病床への転換や療養病床の在り方を検討し、選択肢を決定していく。また、薬品や診療材料の価格について、専任の職員に価格交渉をしてもらい、材料費の継続的なコスト削減を図っている。

2. 老朽化の状況について

当院は平成元年に現在の南館を建築し、30年近く経っている。施設、設備は老朽化が進み、毎年300万円程度の修繕費がかかるようになっていく。医療機器に関して、計画的に更新をしているが、高額な機器の為、年度内に1～2件程度の更新であり、思うように更新されていない。

全体総括

現時点では、黒字を確保できており、経営実態に鑑みた早急な経営形態の見直しが必要・緊急性は低い。しかしながら、施設の老朽化や人口減少による医療収入の減少が予想されることから、地域ケア病床への転換や療養病床の在り方などを将来的に決定していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。